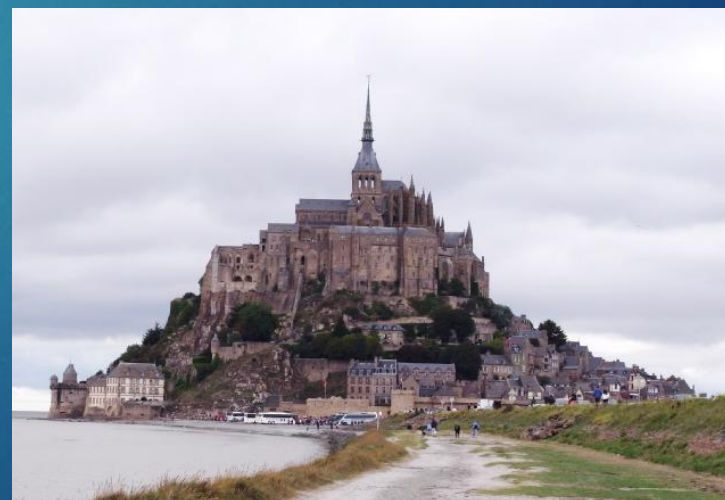
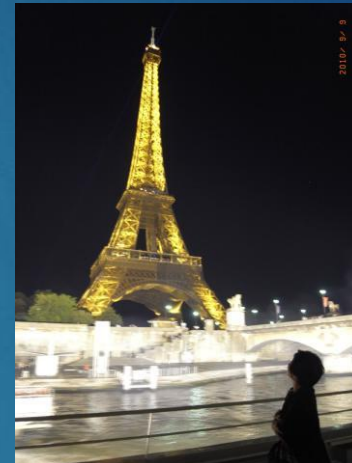


フランス鉄道の旅

写真集1

2010 8月24日(火)~9月10日(金)

両替、¥112/€





シャルル・ド・ゴール空港





RER B線で、空港から
パリ北駅へ

RER B線

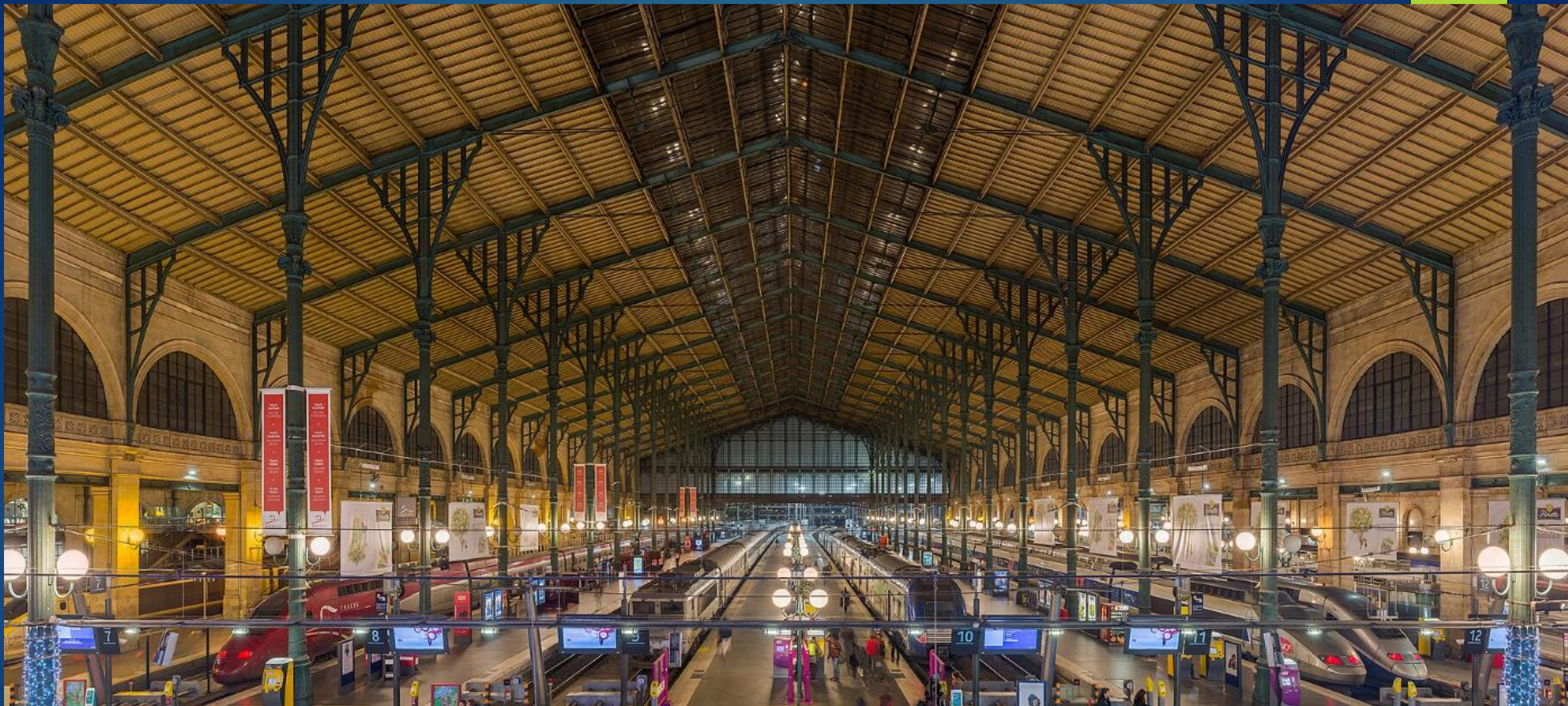
イル＝ド＝フランス地域圏急行鉄道網（イル＝ド＝フランス
ちいきけんきゅうこうてつどうもう、フランス
語: Réseau Express Régional d'Île-de-France)

鉄道網

急行

イルドフランス地域





パリ 北駅

Gare du Nord

フランス パリの北駅

北フランス ベルギー、オランダ からの電車の到着駅

バリテーションに苦労した

切符の使用開始日時の押印手続き



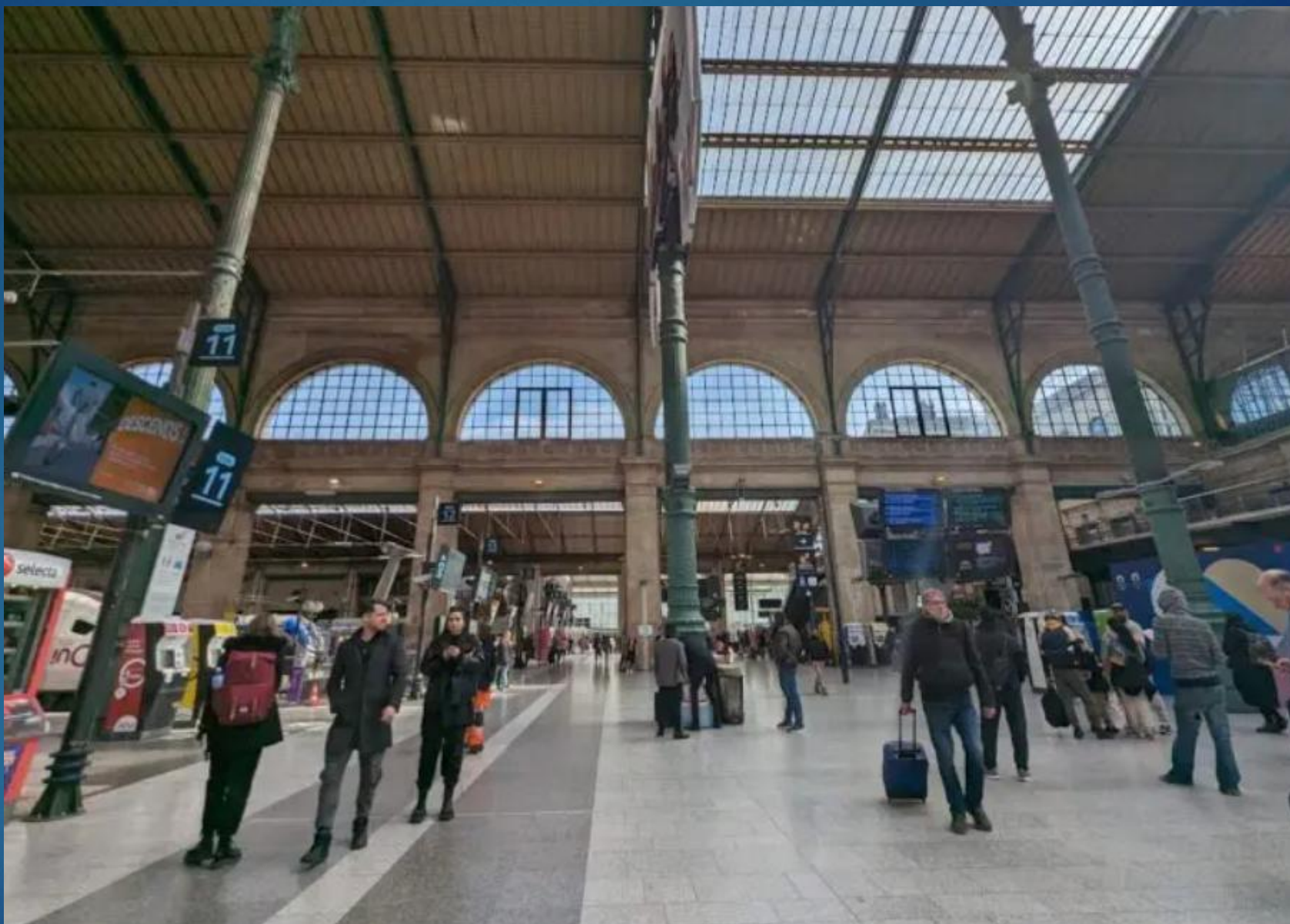
キップ売り場

予め日本で入手したユーレールパスを使用するに当たり、パスのバリテーション（使用開始日時の押印手続き）をしてもらう必要がある。

バリテーション手続きの場所がわからず、大変苦労した。

切符売り場の駅員に聞いても明快な返事なし（この駅員も知らない）。近くにいた英国人（旅行者）が助けてくれた。「イギリス国旗のマークのある窓口に行けばいい」と教えてくれた。

インターナショナルチケット売り場（イギリス国旗）の窓口でのみ、バリテーションが出来ることをが分かった。無事終了



パリ 北駅 コンコース



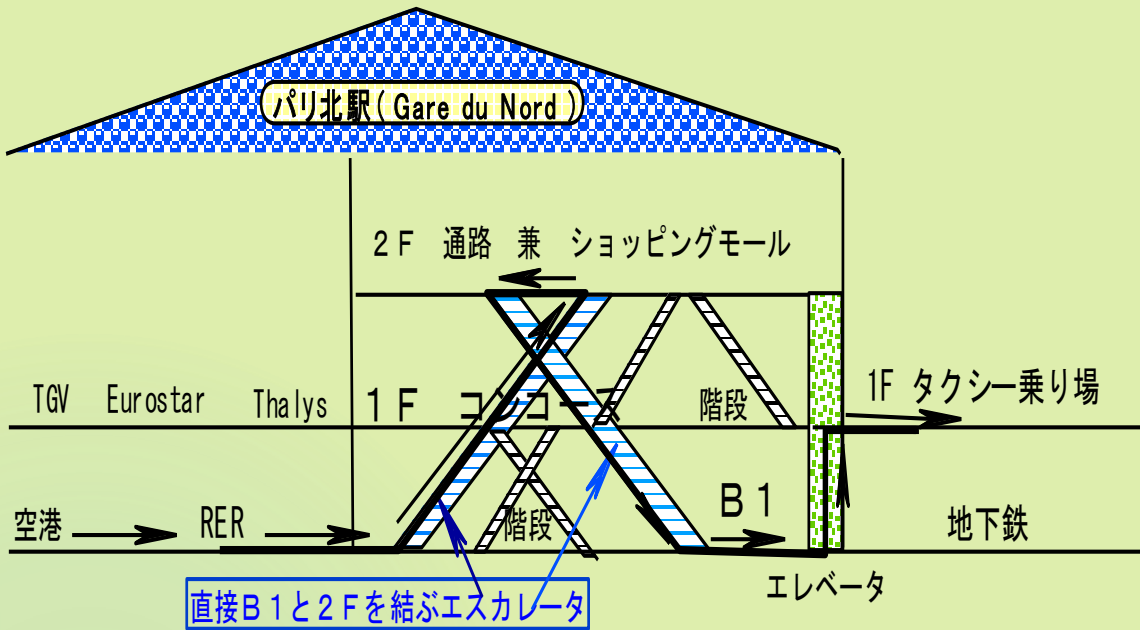
インターナショナルチケット売り場（イギリス国旗）

パリ 北駅 コンコース



パリ 北駅

苦勞したパリ北駅



空港からRER（高速郊外鉄道）でパリ北駅B1に到着。

1Fのタクシー乗り場に行こうとして、エスカレータに乗ったら、いきなり2Fに、間違いに気づき、1Fに降りようとしてエスカレータに乗ったらB1に戻ってしまった。

大きな荷物を持っているので、階段を使うことが出来ない。

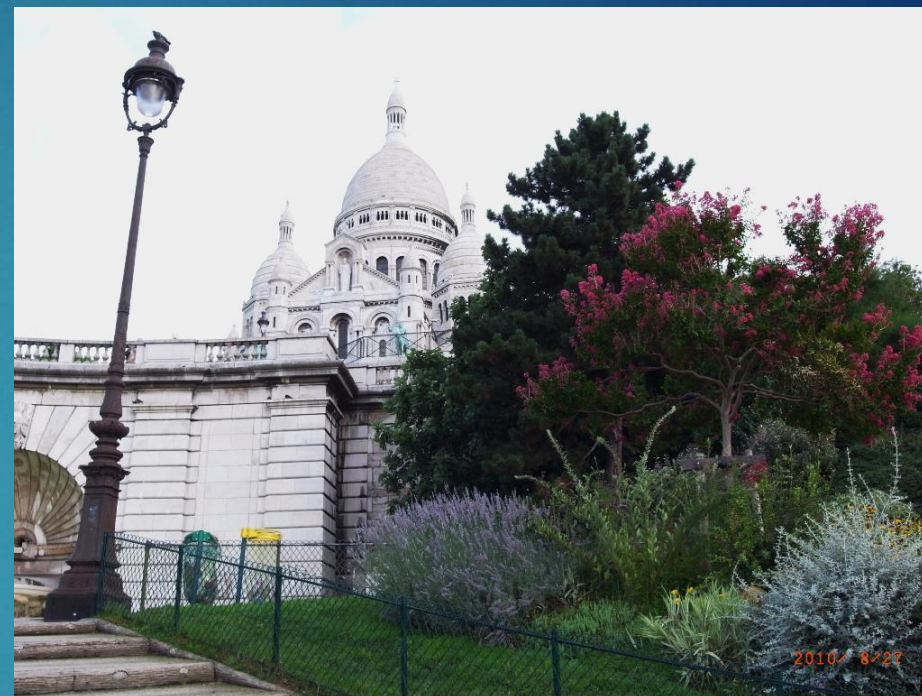
1Fのタクシ乗り場の標識が見えているのになかなかたどり着けない。暫くうろうろした結果エレベータを発見。エレベータに乗り何とか1Fのタクシー乗り場にたどり着いた。



パリの北駅 タクシー乗り場
(モンマルトルまでタクシーで)



モンマルトルのアパートホテル（レストランの上）



アパートホテルはサクレクール寺院の近く



アパートホテルには、フロントが有り
普通のホテルと変わりがない。

但し、早朝と夜間は、フロントは無人
となる。

宿泊客は予め知らせたオートロック
キーの暗唱番号を入力することにより、
ホテル内に出入りする。

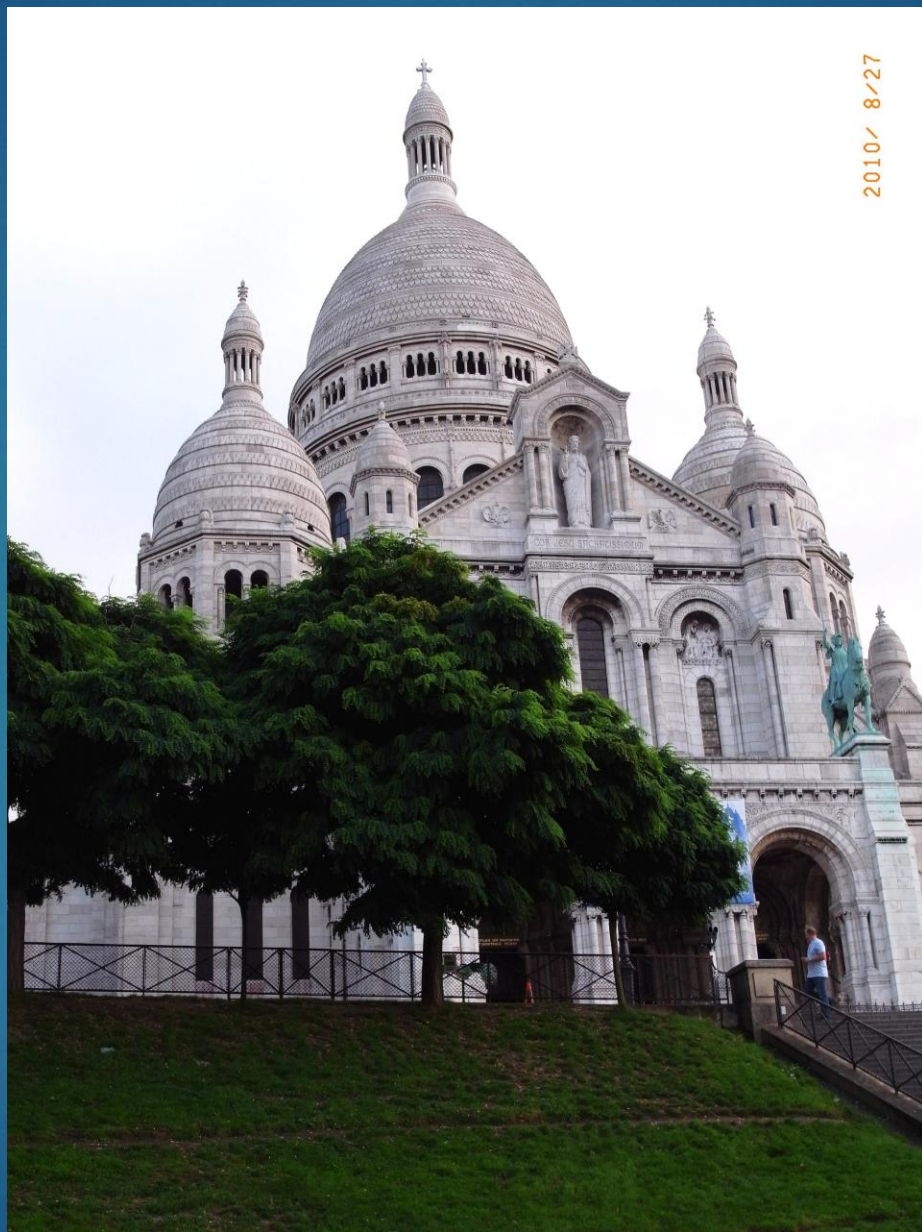
なお、ルームキーは普通のホテルと
同じ。

アパートホテルの玄関

モンマルトルの丘

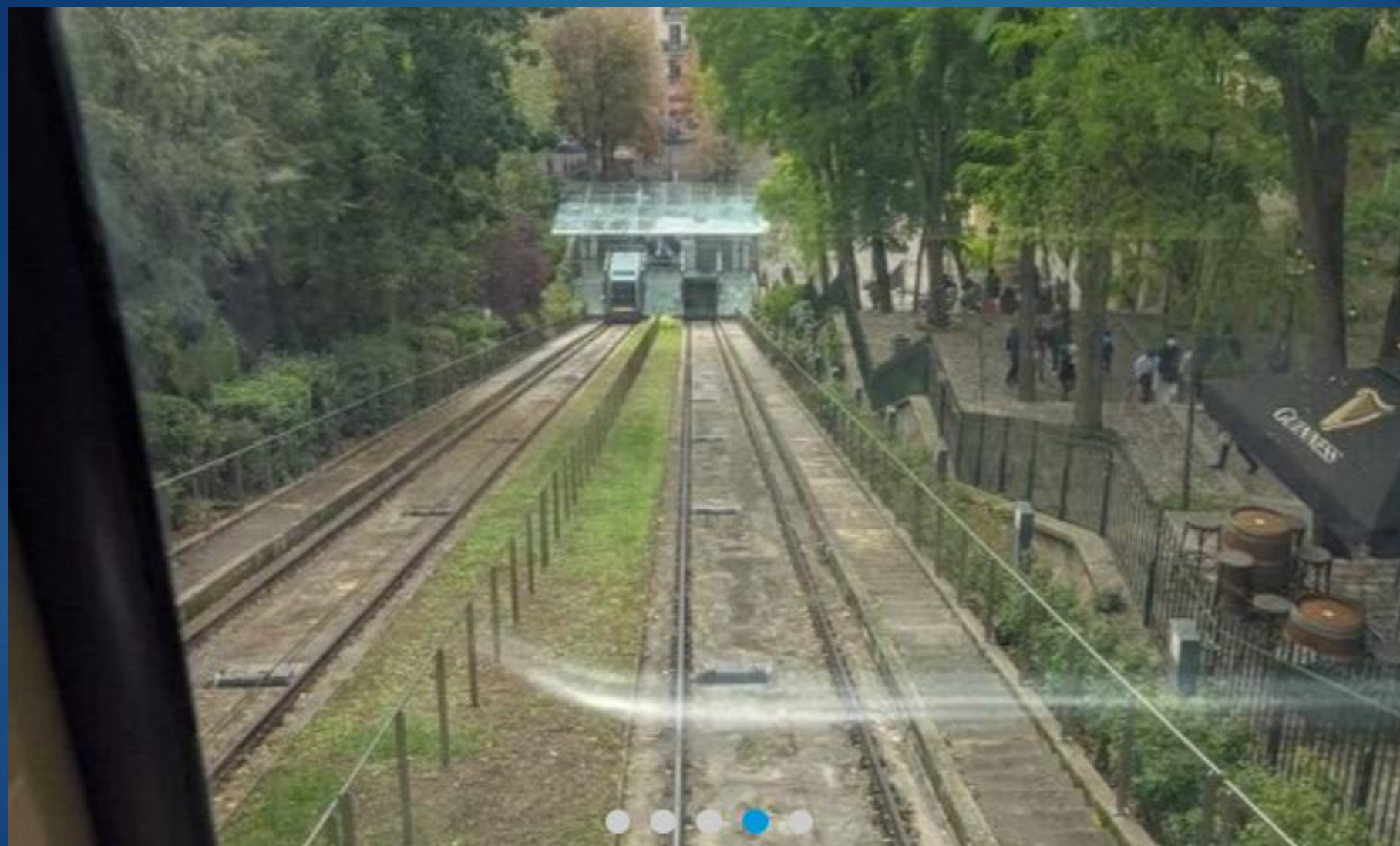


サクレクール寺院





モンマルトルの丘ケーブルカー



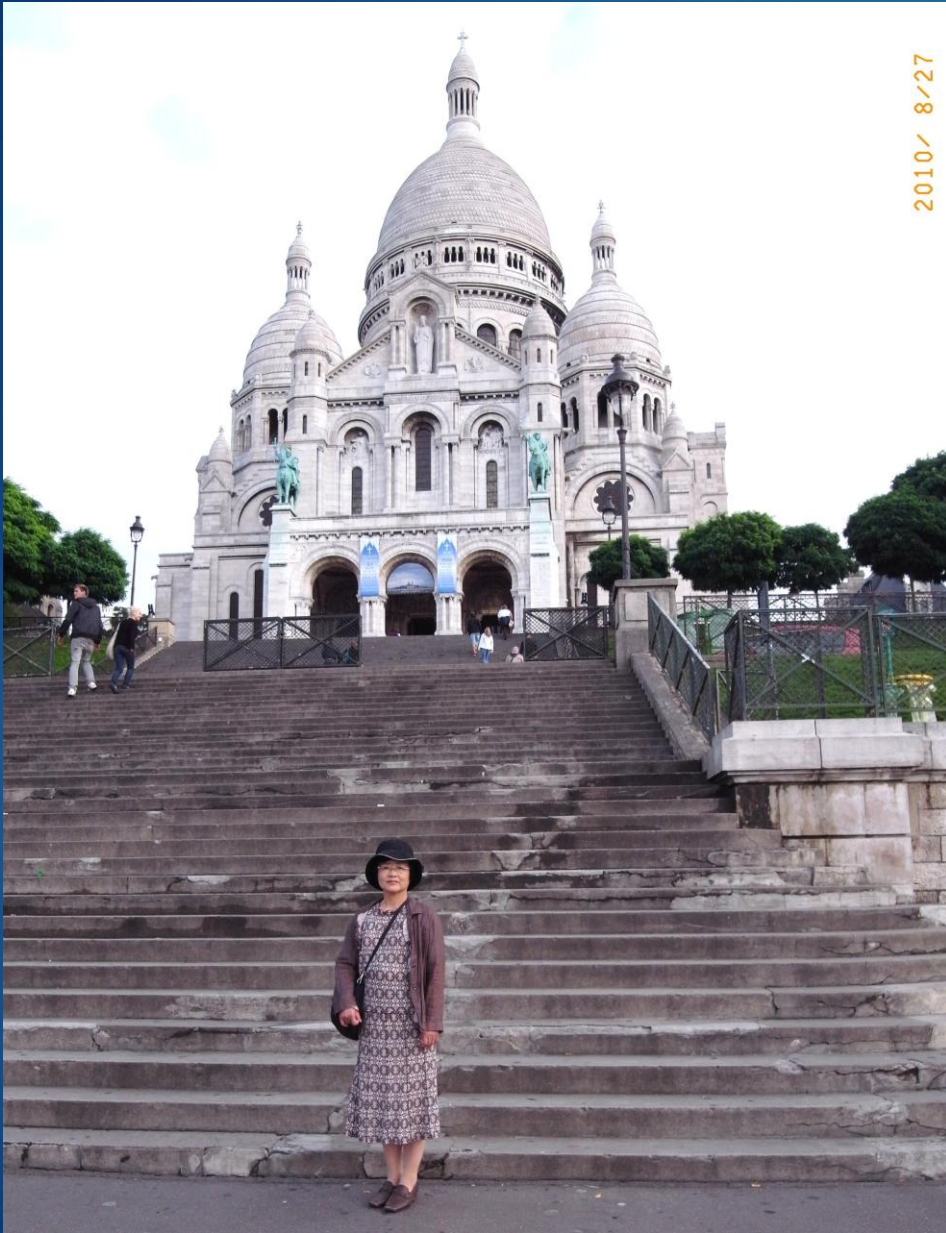


モンマルトルの丘階段でも登れます





モンマルトルの丘からモンパルナスタワーを臨む

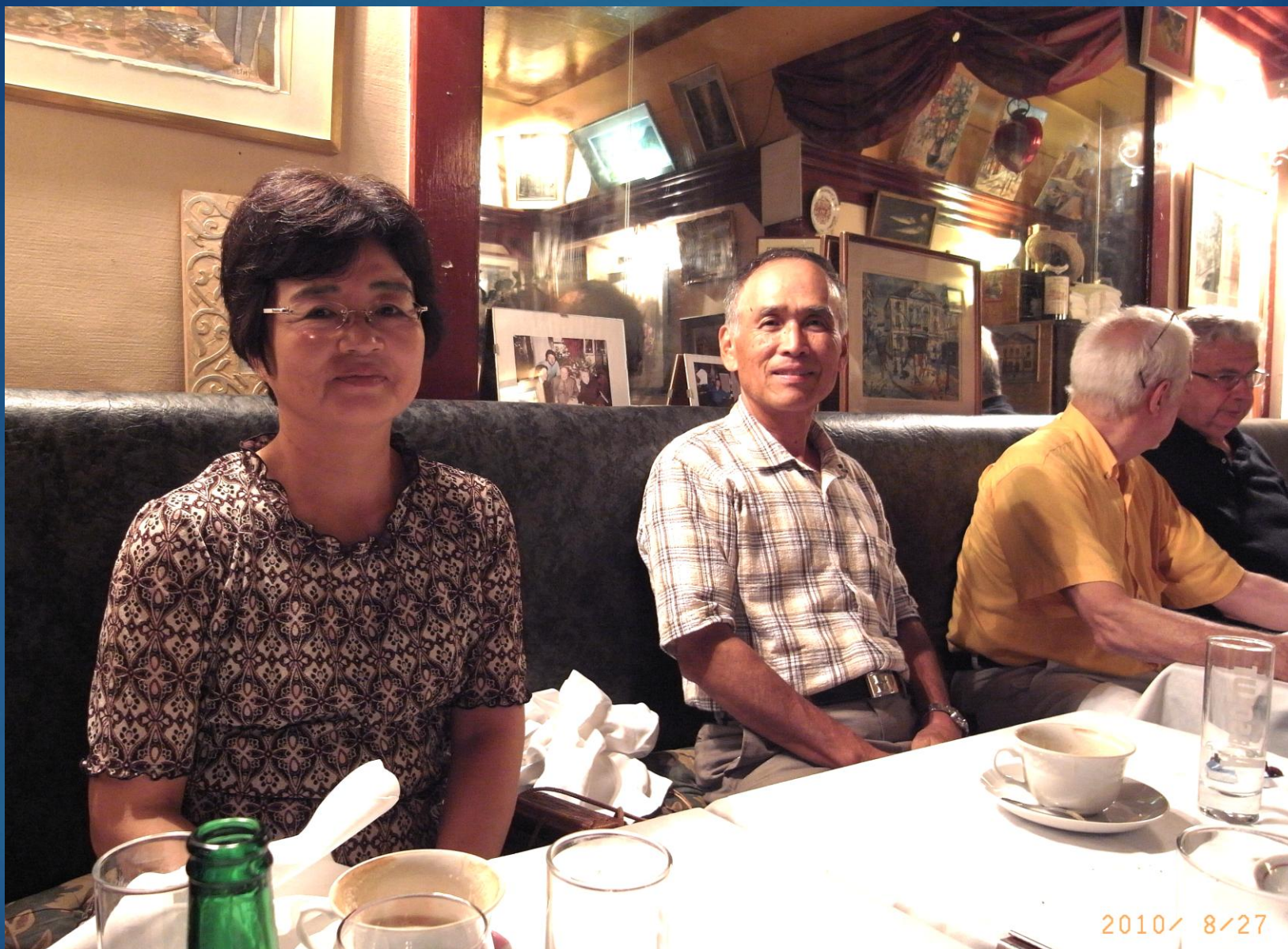


モンマルトルの丘



モンマルトルの丘 サクレクール寺院





モンマルトルのレストラン

モンマルトル





モンマルトルで
ビスケットを買って帰った。
残念ながら半生タイプみたいな
感じで、全然美味しくなかった。

ベルサイユ宮殿

ベルサイユ宮殿の最寄り駅は、RER C線の「ヴェルサイユ・シャトー・リヴ・ゴージュ駅」です。この駅から宮殿までは徒歩約10分。



ゴージュ駅前

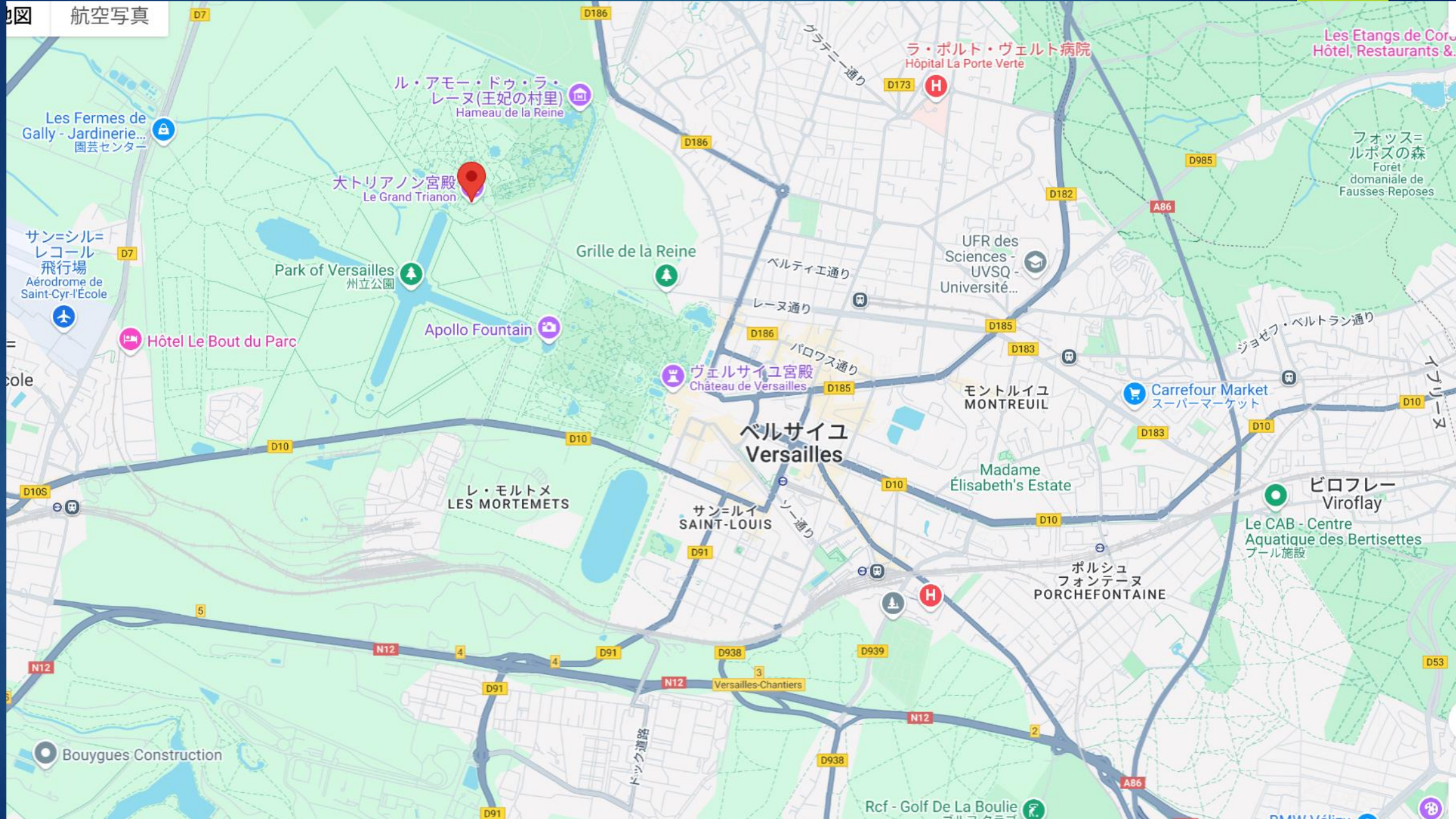


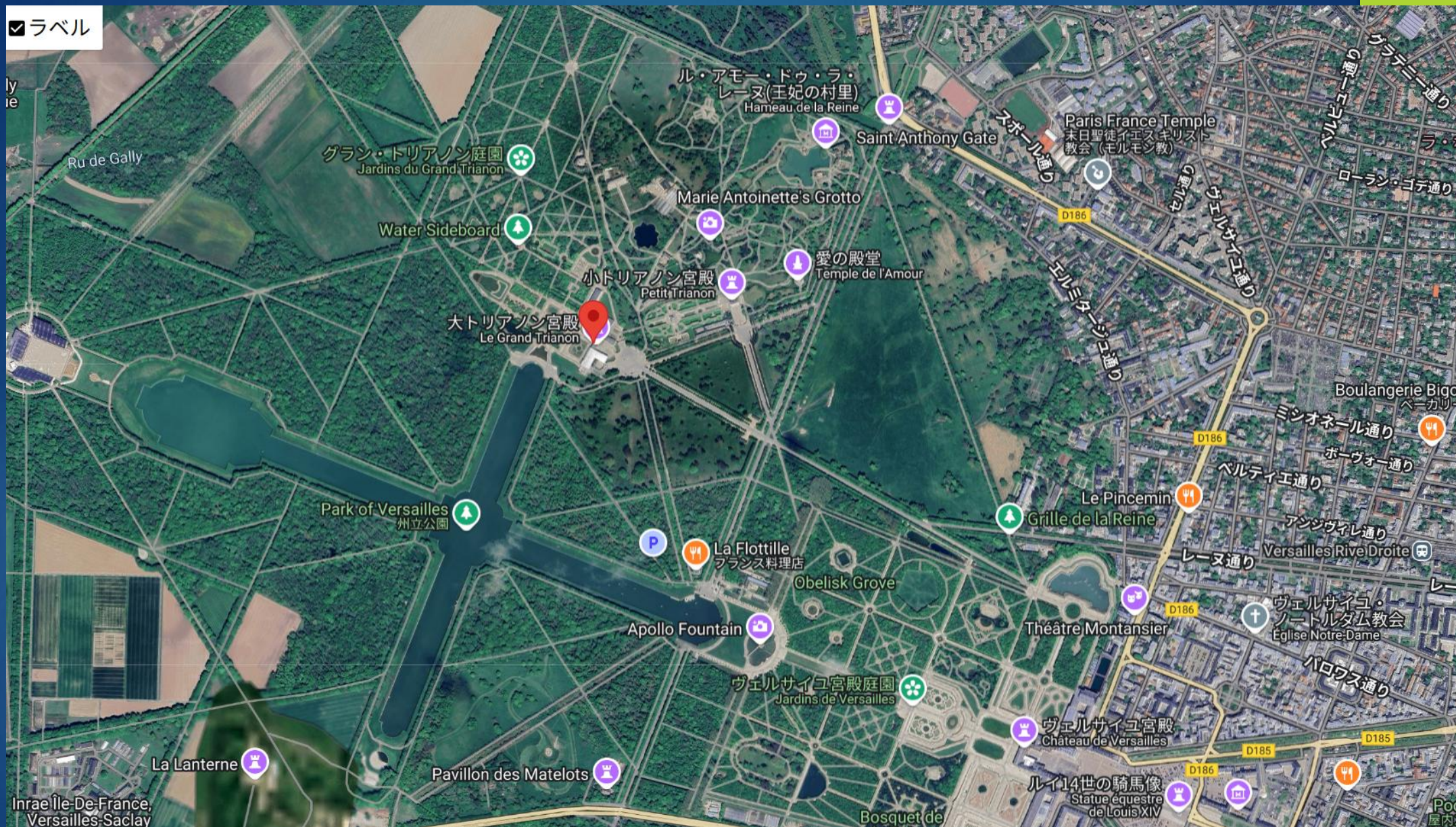
ベルサイユ宮殿へ道順の看板なし

地図

航空写真





ly
ie



観光客らしき人達も見当たらず、どっちに行けばよいのか分からない



ヴェルサイユ宮殿に向かう途中



それらしき建物が見えてきた



宮殿入口に到着

観光バスが沢山 バスで訪れる観光客が圧倒的
多いと思われる

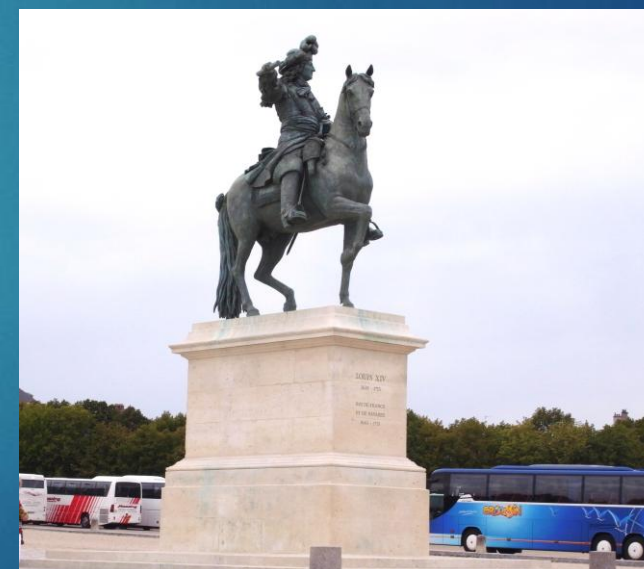
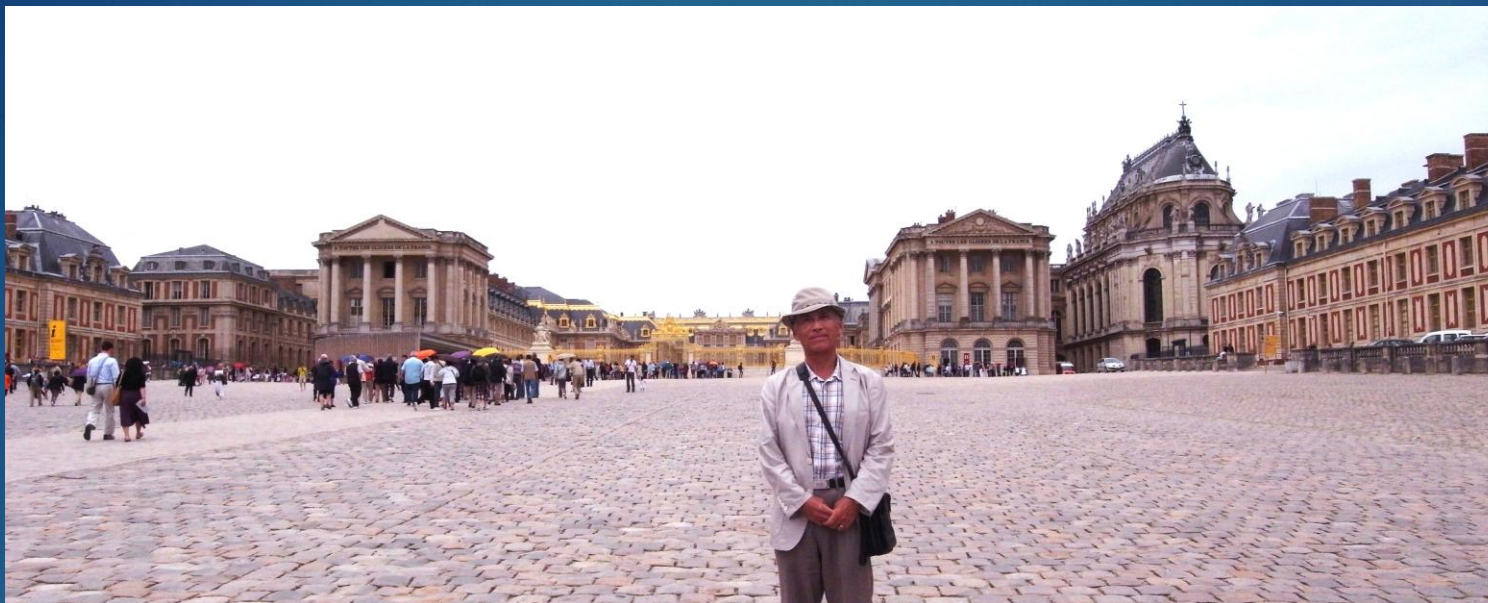






ラトゥヌの泉

ラトゥヌの泉



ルイ14世騎馬像

宮殿内部の見学は今回省略



ヴェルサイユ宮殿の「鏡の間」



王専用の居室



ヴェルサイユ宮殿の大運河



プチトラン（ヴェルサイユ宮殿）を利用して庭園内を巡回



フチトラン（ヴェルサイユ宮殿）

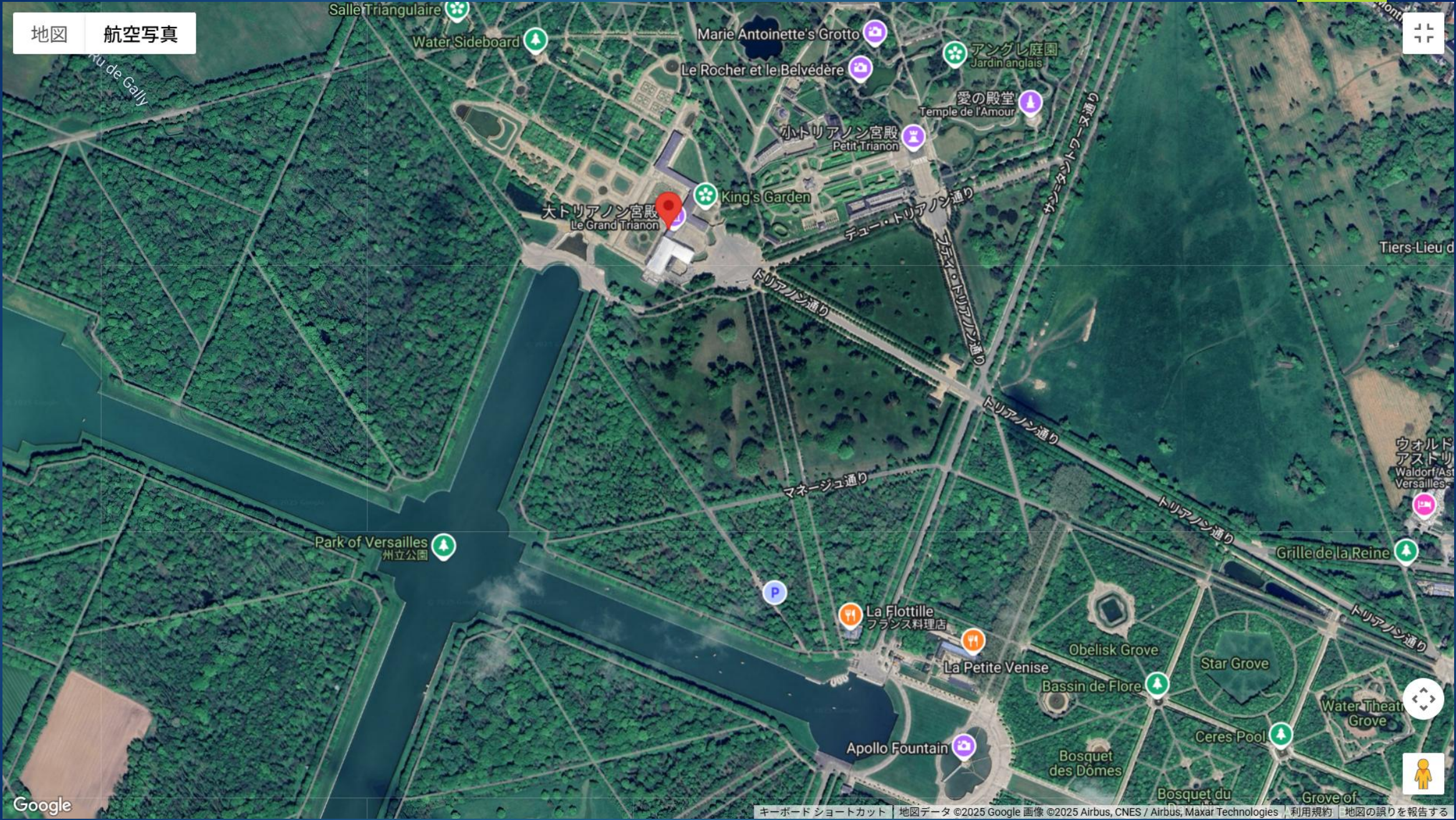


フキトランに乗って出発

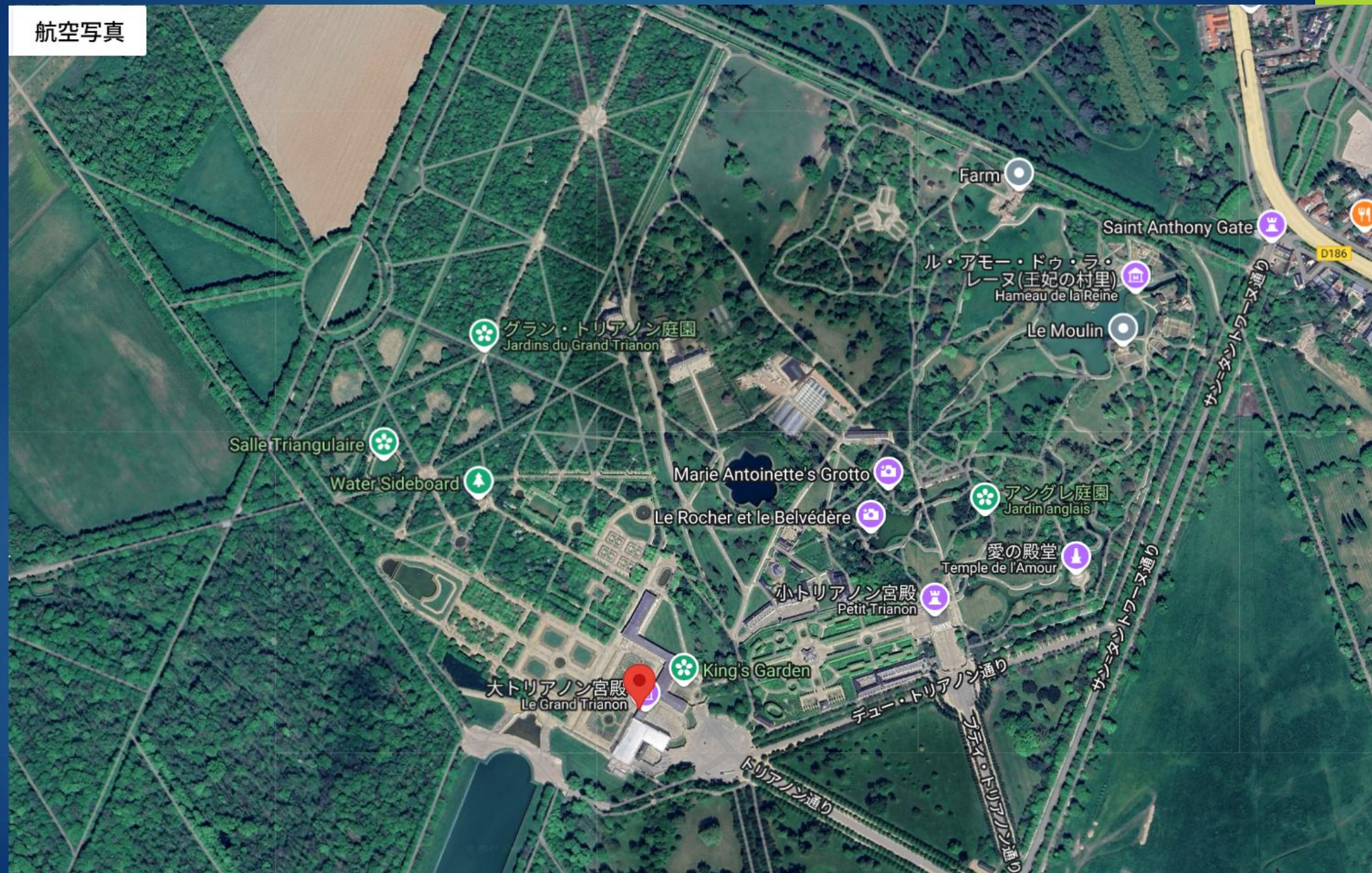
ラトヌの泉



大運河 ラトナ噴水 フキ・トリアノンは運河の右側



航空写真





ヴェルサイユ宮殿の裏手にある広大な庭園



ヴェルサイユ宮殿の庭



ラトナの泉水 ラトンヌの泉



アポロンの泉水 右上が宮殿



アポロンの泉水

サチュルヌの泉水



ヴェルサイユ宮殿の中でもルイ14世が愛してやまなかった庭園は、フランス式の数ある庭園の中でも最高傑作と呼ばれています。



ラトヌ泉水下から宮殿方面を望む



フランスを代表する庭園



毎年30万本の花が植えられます！

大トリアン宮殿







大トリアノン宮殿



大トリアノン宮殿



大トリアノン宮殿



大トリアノン宮殿





ベンチで一休み



美少女 読書中



英国式庭園

フチ・トリアノンは、ヴェルサイユ宮殿の庭園にある離宮の一つ。新古典主義建築であり、建物の形は正方形。内装はロココ様式の最高峰とも評される^[2]。

ルイ16世の王妃マリー・アントワネットの私的な宮殿として有名である。



2686/3,148 : すべての写真





王妃の館の1階にある食堂



フチ・トリアノンのエントランス



バラを持つ王妃マリー・アントワネット
女性画家「ヴィジェ・ルブラン」作





メインルーム

王妃の村里は12の家屋からなる農村エリア



王妃の村里を見学







愛の神殿



村里内の王妃（マリーアントワネット）の家





王妃の村里は12の家屋からなる農村エリア



王妃の村里



野菜畑





村里内の小屋



酪農小屋と小回廊で結ばれている「マールボロの塔」









水車小屋



ブドウ畑





フチ・トリアノンの牧場



牧場 出口がどの方向か分からず出るのに苦勞した

END